

ネットワーク通信

山梨県障害者差別解消支援ネットワーク会議

No56
2025.7.1



- 令和7年度 心のバリアフリーを広げるポスターと標語の募集
- 「やまなしユニバーサルフェス2025」
- コミュニケーション支援ボードを知っていますか？

事務局：山梨県障害福祉課
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
Tel 055-223-1460
Fax 055-223-1464
E-mail shogai-fks@pref.yamanashi.lg.jp

令和7年度 心のバリアフリーを広げるポスターと標語の募集

◆県民の共生社会に対する気運を醸成するため、障害のある人となない人が互いに尊重し合い、共に暮らすことができる「共生社会」をテーマに、ポスターと標語を募集します。◆

募集内容：心のバリアフリーや障害者週間のことを広めるためのポスターと標語

募集期間：令和7年7月1日（火）～8月29日（金）

応募資格：小中学生の部 山梨県内の小学校又は中学校に在籍する者
一般の部 山梨県内に居住する者

応募方法：（１）ポスター 郵送または持参
（２）標語 郵送、持参または電子メール

応募先・問い合わせ先：〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

山梨県福祉保健部障害福祉課企画推進担当あて

メールアドレス shogai-fks@pref.yamanashi.lg.jp

電話番号 055-223-1460 FAX番号 055-223-1464

作品の審査は、県庁内の選考委員会で、各部門別に優秀賞1点と佳作数点を選定します。

※ポスター・標語の応募をする際は、募集要項を必ずご確認ください。記載事項等に漏れがないようご注意ください。

※応募作品は未発表のものとし、1人1点に限る。

*応募規格や注意事項等は、募集要項、または山梨県ホームページをご覧ください。

「山梨県 心のバリアフリー」でも検索できます。

リンク：[山梨県／心のバリアフリーを進めよう！広げよう！（pref.yamanashi.jp）](https://www.pref.yamanashi.jp/shogai-fks/kokoronobarrierfreesuisinjigyou.html)

<https://www.pref.yamanashi.jp/shogai-fks/kokoronobarrierfreesuisinjigyou.html>

8月29日（金）募集締切！
多くの方々の
ご応募をお待ちしています。

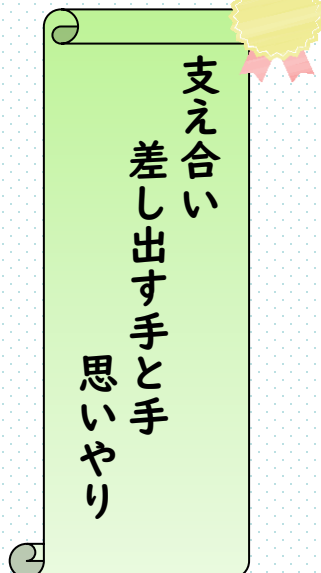


令和6年度 優秀賞受賞作品（小中学生の部）



ポスター：内藤 綾乃さん（三村小学校）
標語：分部 結華さん（富士小学校）

令和6年度 優秀賞受賞作品（一般の部）



標語：渡邊 葵さん（富士北稜高校）

令和6年度小中学生の部佳作



差別なし
みんなでつくる
笑顔の輪

まず一歩
自分を見つめて
みてごらん
あっという間に
世界が変わる

令和6年度一般の部佳作

たくさんの 優しい心 プレゼント

変えていこう
生きやすい社会 変わる未来

昨年度の受賞作品です。

このほか、受賞作品の中から、内閣府が実施する障害者週間のポスターに推薦した結果、佳作を受賞したため、本事業からは外れたものが1点あります。

『やまなしユニバーサルフェス2025』開催します

障害のある方の社会参加の促進や共生社会の実現を目的とし、障害のある方とない方が共演するファッションショーを中心に、ダンスパフォーマンスや手話言語の啓発イベントを一体的に開催します。

- ※ テーマ「わたしの色、あなたの色」
- ※ 日時 令和7年8月30日（土）13:00～15:00
- ※ 会場 イオンモール甲府昭和 1階さくら広場
（中巨摩郡昭和町飯喰1505-1）
- 【第1部】県内在住の障害者モデルらによる
ファッションショー
- 【第2部】障害者グループと山梨大学ダンス部による
ダンスパフォーマンス
- 【第3部】手話言語の啓発イベント
お笑いコンビ『デフW』による『ろう者のあるある』や、当事者団体等による『手話コント』『手話クイズ』など

観覧無料ですので、ぜひお越しください♪

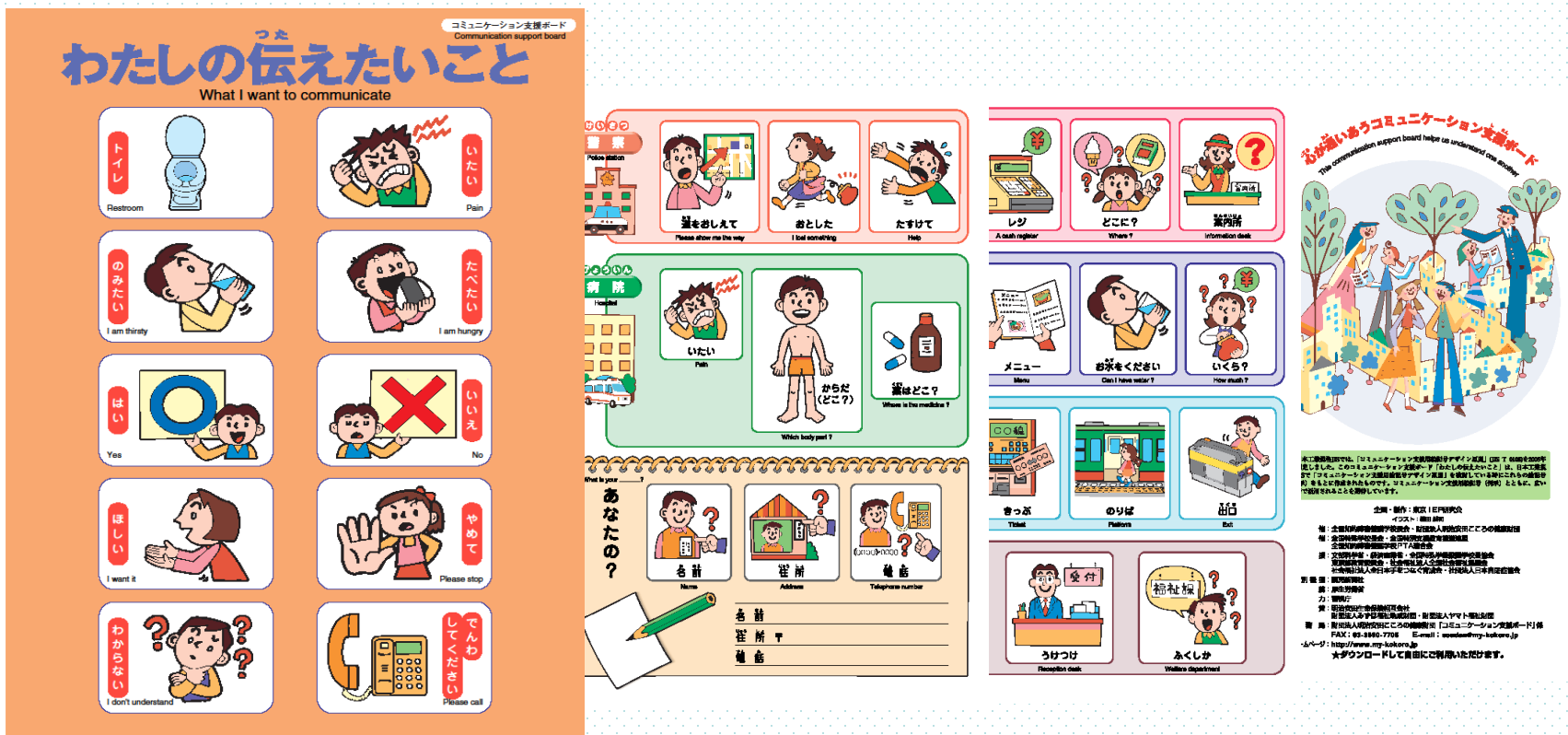


コミュニケーション支援ボードを知っていますか？

言葉によるコミュニケーションが難しい人々（知的・発達障害や自閉症、聴覚障害のある人、外国人、高齢者等）のコミュニケーション支援を目的として作成された図版で、指さして用いることが想定されています。

2003年に公益財団法人明治安田こころの健康財団と全国知的障害養護学校長会（現全国特別支援学校知的障害教育学校長会）が主催し、東京IEP研究会が制作したものが始まりです。その後、地方公共団体や関係機関と協力して、警察版や救急用など、さまざまなバージョンが開発されました。

このような支援ボードは、地域社会での利用が進められており、交番やパトカー、鉄道駅、コンビニなど、さまざまな場所で設置されています。これにより、コミュニケーションのバリアフリーを目指し、社会全体の理解と支援が広がっています。



（参照）[コミュニケーション支援ボード | 公益財団法人 明治安田こころの健康財団 \(my-kokoro.jp\)](http://www.my-kokoro.jp)